

艇跡

2013年11月号

発行：名古屋工業大学ボート部

編集：松山由樹 黒木亜美 小崎裕子 土本香苗

野村晃奈 本田理恵 三浦永理 水野菜央

日一日と寒さがつのりますが、いかがお過ごしでしょうか。

私たち現役部員は名大新人戦を終え、これから冬のトレーニングを始めます。今シーズンは悔しくも目標を達成することができませんでした。その悔しさを胸に、来シーズンに向け、寒さに負けず練習に励んで参ります。今後も皆様の温かいご支援、ご声援の程よろしくお願いたします。



- 中部学生新人競漕大会
- 名古屋レガッタ
- 名大新人戦
- 今後の予定
- お知らせ

中部学生新人競漕大会

晴天のなか行われた今大会では、新しくクルーを組んで一ヶ月ということもあり、漕ぎを合わせるができず悔しい結果となってしまいました。日々の練習の甘さを痛感し、練習を見直すいい機会となりました。目標を達成するため、心を改めて練習に取り組んで参ります。

日程 : 2013年9月28日(土)~29日(日)

場所 : 愛知県愛知郡東郷町 愛知池漕艇場 1000m

出漕クルー : 男子舵手付きフォア (C:堀田岳人④ S:水野陽升① 3:坂井翔太②)
2:早田陽紀③ B:近藤岳晴①
男子ダブルスカル (S:神谷悠太② B:小松昌平①)
女子ダブルスカル (S:村瀬華奈① B:横田裕希②)

○内の数字は学年を示します。

◆男子舵手付きフォア◆

<決勝1回目>

着順	クルー名	500m	1000m
1	名古屋大学	1'42"71	3'23"24
2	名古屋工業大学	1'41"54	3'24"70

<決勝2回目>

着順	クルー名	500m	1000m
1	名古屋大学	1'41"41	3'23"65
2	名古屋工業大学	1'41"20	3'23"91



山内さんとH23年卒の谷口さん、
コーチの小島さんです。

●クルーの言葉●

男子舵手付きフォア S:水野陽升(1年)

今回の大会で初めて整調として出場し、整調というポジションの難しさを感じさせられました。そして、スタート・コンスタント・ラストスパートは常に同じ漕ぎをしなくてはと思い、その難しさも実感しました。次の大会では、今回の大会で学んだことを活かして勝ちたいです。

男子舵手付きフォア 3:坂井翔太(2年)

クルーを組んで一ヶ月で臨んだ今大会でしたが、当日のレースでは4人の漕ぎは全く合わず、この一ヶ月の練習の甘さを実感すると共に、上級生として一年生の2人を漕ぎの面で引っ張ることができなかつたことに悔いが残りました。

今後の練習ではその甘さを捨て、後輩を引っ張れるようなクルーに成長したいと思います。

◆男子ダブルスカル ◆

〈予選 A 組〉1 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m
1	名古屋工業大学 A	2' 13"27	3' 37"10
2	南山大学 B	1' 53"40	3' 49"24
3	名古屋大学 A	1' 45"15	3' 50"90
4	名古屋大学 C	1' 53"05	4' 15"82



〈決勝〉

着順	クルー名	500m	1000m
1	南山大学 A	1' 42"28	3' 26"25
2	名古屋工業大学 A	1' 44"75	3' 36"35
3	名古屋大学 B	1' 50"86	3' 42"59
4	名古屋大学 A	1' 51"65	3' 44"79
5	南山大学 B	1' 54"84	3' 51"41
6	名古屋大学 C	2' 00"18	4' 22"09



1 年の村瀬と 2 年の横田です。
レースに向けて準備体操をしています。

●クルーの言葉●

男子ダブルスカル S:神谷悠太(2年)

今回は初めて 1 年生の後輩とクルーを組んだ新人大会でした。

日々の練習では自分がしっかりと教えなければならない、大会当日も自分が落ち着いてしっかりと漕がなければならない、そんな緊張に押し潰されそうな毎日でした。

それでも後輩を勝たせてあげたいという想いで練習を続けてきましたが、一步及ばずの結果となってしまいました。今思うと、自分自身が勝利に対して食欲になれていなかったのだと思います。誰のために漕いでいるのか、ということをもう一度考え直して来年のインカレまで頑張りたいと思います。



名大のフォアと接戦です。頑張れ！！

◆女子ダブルスカル◆

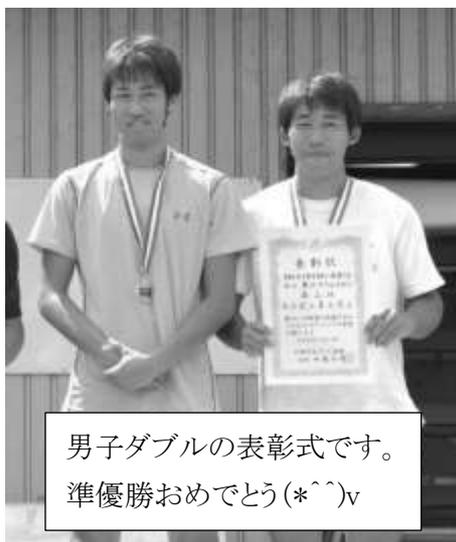
〈決勝 1 回目〉

着順	クルー名	500m	1000m
1	名古屋大学	1'52"03	3'45"90
2	南山大学	2'03"62	4'05"13
3	名古屋工業大学	2'06"92	4'12"17



〈決勝 2 回目〉

着順	クルー名	500m	1000m
1	名古屋大学	1'56"12	3'51"92
2	南山大学	2'08"39	4'14"41
3	名古屋工業大学	2'14"74	4'24"42



男子ダブルの表彰式です。
準優勝おめでとう(*^*)v



H14 年卒の中西さんと H25 年卒の川村さんです。

●●応援にお越し下さった方々(敬称略)●●

卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前
		白艇会会長 衣斐洋一			特別会員 山内政勝	S50	Es	浜岡重男
H14	Uc	中西光昭	H21	KZ	小池亮介	H22	ME	大隅 溪
H23	CM	古泉祐輝	H23	ME	原 清高	H24	CM	谷口真奈花
H25	EE	川村真矢						

●●白艇会費を下された方々(敬称略)●●

卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前
S50	Es	浜岡重男	H14	Uc	中西光昭	H22	ME	大隅 溪
H25	EE	川村真矢						

ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。

名古屋レガッタ

すばらしい秋晴れの中、レースが行われました。惜しくも全クルーともに目標を達成することができませんでした。しかし、それぞれがこの悔しさを糧にし、名大新人戦では目標を達成することができるよう、日々の練習に励んで参ります。

日程 : 2013年10月13日(日)

場所 : 愛知県名古屋市港区 名古屋港漕艇センター 1000m

出漕クルー : 男子舵手付きフォア (C:大矢康太① S:小松昌平① 3:神谷悠太②)
 (2:近藤岳晴① B:水野陽升①)
 男子ダブルスカル (S:坂井翔太② B:早田陽紀③)
 女子ダブルスカル (S:村瀬華奈① B:横田裕希②)
 男子シングルスカル (都築 亮③)

○内の数字は学年を示します。

◆男子舵手付きフォア◆

<決勝 A>

着順	クルー名	タイム	備考
1	名古屋大学 A	3'19"50	優勝
2	名古屋大学 B	3'23"06	準優勝
3	名古屋工業大学	3'31"43	第3位
1	旭丘高校(4×+)	3'51"36	



<決勝 B>

着順	クルー名	タイム	備考
1	名古屋大学 A	3'20"44	優勝
2	名古屋大学 B	3'20"62	準優勝
3	名古屋工業大学	3'33"19	第3位
1	旭丘高校(4×+)	3'52"18	



◆男子ダブルスカル◆

〈予選 C〉1 杯上がり

着順	クルー名	タイム
1	名古屋工業大学	3'35"65
2	AND RC A	3'48"94
3	南山大学 A	3'52"54



S61 年卒の鳥居さんと 2 年の坂井です。

〈準決勝〉2 杯上がり

着順	クルー名	タイム
1	名古屋工業大学	3'31"64
2	AND RC B	3'37"36
3	名古屋大学 B	3'57"21
4	AND RC A	4'06"59



〈決勝〉

着順	クルー名	タイム
1	南山大学 B	3'23"47
2	名古屋工業大学	3'26"32
3	津高校 B	3'30"47
4	AND RC B	3'37"56



レースの様子です。がんばれっ！



中締めの様子です。

●クルーの言葉●

男子ダブルスカル B:早田陽紀(3年)

初めてのスカルでの試合でしたが、正直自信はありました。でも、いざ試合当日となると思っただようにはいかないもので、予選を勝ち抜くだけで精一杯でした。コーチの指導のもと、部全体の潛力を上げていきたいです。

応援に来て下さった OB・OG の方々、院生の皆様、ありがとうございました。

◆女子ダブルスカル◆

〈決勝 A〉

着順	クルー名	タイム
1	名古屋大学	3'48"15
2	南山大学	4'04"31
3	名古屋工業大学	4'07"48
4	旭丘高校	4'21"96



〈決勝 B〉

着順	クルー名	タイム
1	名古屋大学	3'53"04
2	南山大学	4'11"55
3	名古屋工業大学	4'21"02
4	旭丘高校	4'26"31



●クルーの言葉●

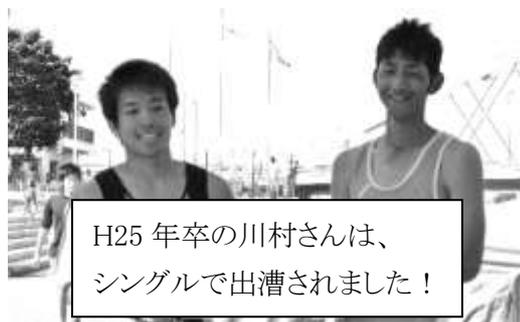
女子ダブルスカル S:村瀬華奈(1年)

レース結果としては、前回の中部新人と同じような結果となってしまいましたが、決勝 A では南山大学とのタイム差も縮まり、スタートとラストスパートで負けてしまったものの、コンスタントではずっと並んでいて、私達が抜きに出ていた時もありました。一方、決勝Bでは、持っている漕ぎを思うように出せず、悔やまれる試合になってしまいました。この 2 本のレースでレース中にしか学べないこと、そうでないことを2人で共に煮詰めて、名大新人の2000mを全力でより良い漕ぎをしたいです。

◆男子シングルスカル◆

<予選 B>1 杯上がり

着順	クルー名	タイム
1	名古屋工業大学(都築)	3'52"86
2	名古屋大学(谷地)	4'05"15
3	旭丘高校(中山)	4'16"62
4	南山大学(相羽)	4'55"16



H25 年卒の川村さんは、
シングルで出漕されました！

<準決勝>1 杯上がり

着順	クルー名	タイム
1	名古屋大学(福田)	3'53"97
2	名古屋工業大学(都築)	3'56"10
3	南山大学(藤田)	4'04"39
4	名古屋大学(村田)	4'06"58



1 年生仲良しです(^^) /

●クルーの言葉●

男子シングルスカル 都築 亮(3 年)

今回シングルスカルで出場して、自分のやりたい漕ぎが一回もできずに負けてしまい、一人で漕ぐことの緊張感と、自分をコントロールできない未熟さを実感しました。ただ、良い経験にはなったので、機会があればまたシングルで大会に出たいと思います。

●●応援にお越し下さった方々(敬称略)●●

卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前
特別会員		山内政勝	S61	Y	鳥居孝行	H22	ME	大隅 溪
H24	CM	谷口真奈花	H25	EE	川村真矢			

●●白艇会費を下された方々(敬称略)●●

卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前
S61	Y	鳥居孝行	H22	ME	大隅 溪

ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。

名古屋大学・名古屋工業大学新人対校競漕大会

秋も深くなり風が強く吹き荒れる中、今年も庄内川で名大新人戦が行われました。逆風、逆流の中で行われた今大会では、残念ながら両クルーともに敗れてしまいました。

この結果を重く受け止め、冬のトレーニングに真剣に取り組んで参ります。そして、春の名大戦では必ず勝利を収めます。

日程 : 2013年11月4日(月)

場所 : 庄内川ボートコース 明德橋～大蟻螂橋 2000m

出漕クルー : 男子エイト

C:大矢康太① S:近藤岳晴① 7:早田陽紀③
 6:都築 亮③ 5:神谷悠太② 4:小松昌平①
 3:水野陽升① 2:坂井翔太② B:出口悠人④

女子ダブルスカル (S:横田裕希② B:村瀬華奈①)

○内の数字は学年を示します。

◆男子エイト◆

着順	クルー名	2000m
1	名古屋大学	7'45"33
2	名古屋工業大学	7'53"13



気合満タン!(^^)v

◆女子ダブルスカル◆

着順	クルー名	2000m
1	名古屋大学	10'25"88
2	名古屋工業大学	11'52"54



左から H25 年卒の川村さんと 3 年の吉光、4 年の堀田です。



●クルーの言葉●

男子エイト C:大矢康太(1年)

今回の名大新人戦はcoxとして2回目の大会出場となりますが、やはりまだまだcoxとして未熟者であることを思い知らされました。出艇直後のアップから、練習ではあまり経験していなかった悪いコンディションに直面したのもあってか緊張してしまい、思っていたような艇の動きを指示する事ができずに無駄な動きをしてしまっていた事、スタートがうまく行かなかったとき動揺してしまった事など、coxとして漕手を引っ張っていくことが出来なかったと思います。自分自身、日頃の生活から、突発的な事には慌ててしまいうまく対応できないことや、狭い視野で物事を見てしまい柔軟な思考ができないことが多く、coxの役割をうまく果たすことが出来ないのもそれに起因するのではないかと思います。なので、まずは日頃の生活から考え方や思考を切り替えていくことを目標として頑張っていきます。まだまだ若輩者なcoxですが、よろしくお願い致します。

女子ダブルスカル S:横田裕希(2年)

今回のレースは相手に約1分半と、かなりの差をつけられてしまいました。スタートから相手に出られた展開でしたが、やはりそもそもの漕力の差がそのまま結果に出てしまったと思います。これから冬トレに入るので、お互いに高め合いながらトレーニングを積み、2000mを2人の一番いい漕ぎで漕ぎきれないようにしていきたいと思います。



左からH24年卒の井上さん、
H22年卒の浅井さん、H16年卒の澤津さんです。



衣斐会長のお言葉です。

●●応援にお越し下さった方々(敬称略)●●

卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前
		白艇会会長 衣斐洋一			特別会員 山内政勝	H16	D	澤津貴弘
H22	KZ	浅井理絵	H24	DW	井上由梨	H25	EE	川村真矢

●●白艇会費を下された方(敬称略)●●

卒業年	学科	御名前
		白艇会会長 衣斐洋一

ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。

今後の予定

年末年始の行事の予定をお知らせ致します。

●●忘年会●●

日程 : 2013年12月29日(日) 18時～

場所 : 名古屋市昭和区鶴舞公園内 萩乃茶屋

会費 : 10,000円

OB・OGの皆様とともに、今年の反省や来年の抱負などを語り合いたいと思っております。

お忙しいとは思いますが、是非お越しく下さい。

●●初漕ぎ会●●

日程 : 2014年1月5日(日) 13時～

場所 : 名古屋市中川区 庄内川

一年の始まりを私たちと一緒に漕ぎ出しませんか。

OB・OGの皆様とお会いできることを楽しみにしております。

尚、お手数ではございますが、同封されています出欠確認はがきにご出欠の旨をご記入の上、ご返送願います。年末をひかえご多忙の中とは存じますが、現役とOB・OGの皆様が交流できるよい機会です。部員一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

お知らせ

この度、S37年卒の松野範衛様が、今年の9月にイタリアで開催された世界マスターズレガッタ(種目:M2×)で優勝されました。後輩の私たちにとって、今回のこの吉報は大変嬉しい限りです。

今回は、松野様ご本人から私たち現役部員や、OB・OGの皆様に向けたお言葉をいただきました。そのお言葉を、この艇跡11月号とともに掲載させていただきます。松野様の世界マスターズレガッタでの試合の情景が書かれておりますので、ぜひご覧ください。

世界マスターズレガッタで優勝しました

E37 の松野です。

去る 9/5～9/8、イタリア北部のヴァーレゼ湖で行われた、2013 年世界マスターズレガッタにおいて、ダブルスカル(クラス J、80～84 歳)で優勝しました。

マスターズレガッタではありますが、日本のクルーがダブルスカルで勝ったのは今回が初めてということもあり、ここに報告させていただく次第です。

今回のクルーは、

整調:堀内浩太郎(1926 年生、87 歳、東大 OB)

バウ:松野範衛 (1939 年生、74 歳、名工大 OB)

ということで平均年齢が 80.4 歳になります。

整調の堀内さんは、私の年代のボート漕ぎなら誰でも知っている伝説の名コーチ(ローマオリンピック東北大学 8+、東京オリンピック日本代表、などを指導)ですが、現在でも世界最高レベルの名スカラーです。

私のほうは、65 歳から始まって、全日本マシンローイング大会 9 連覇中なので、おそらく同年代では最も体力のあるスカラーといっても良いと思っています。

というわけで堀内・松野組は、現時点では国内最強のダブルです。(全日本マスターズを含め、国内レースでは負けたことはありません。)

世界マスターズレガッタは、若い人にはあまり馴染みのない大会ですが、FIFA 主催のイベントでは最大のもので、欧米を中心に千名以上のボート漕ぎが集まってきます。(ほとんどが自艇を持って乗り込んできます。)

スカル、スイープの全種目を、男女、年齢別に、A～K のカテゴリーに分かれて競うので、膨大な数のレースが行われることになります。

参加選手は、欧米の元ナショナルチームレベルが多く、技術、体力ともに非常に高い。欧米のクラブ生活の充実さが偲ばれるところで、年を重ねても同じ世代の相手と世界選手杯を争い、楽しむ、という余裕のヨーロッパ文化を感じます。

軽量級はありませんので、身長 2メートル級の大男と戦わねばならず、60 歳以下の年齢では日本人は歯が立ちにくいのですが、60 歳を超えると相手も弱ってきて、こちらにチャンスがまわってきます。

堀内さんと組んでのダブルスカルは今年で 4 年になりますが、日本では負けなしでも、世界戦では 3 位止まりで勝っておりませんでした。

それが、今年から平均年齢が 80 歳を超えたので、カテゴリー J に移り、チャンス到来というわけです。それでも今年のクラス J は 8 組がエントリーしており、顔ぶれも欧米の名の通ったスカラーが集合し、激戦が予想されました。

国別にみると、JPN、GER、CZN、GBR、ITA、NOR、USA、BRA、といったところです。

レースは弱い逆風でしたが、波のない良いコンディションで行われました。

我々は、作戦通りスタートで飛び出し、200メートルあたりで水をあげ、ゴールでは4艇身以上離して、4分20秒27でゴールしました。

8レーンのすべてを眺めながら漕ぐのは初めての経験でしたが、気持ちの良いものでした。

ウィニングローの後、スタンドの前の表彰台に上がり、大きな拍手の中でメダルを貰い、なるほど FIFA の主催する世界戦で、間違いなく頂点に立っている、ということが実感できました。今回のことは、“世界戦でのメダル”ということで、東京を中心に色々と戦勝会などをしていただく中、母校の方にもお知らせをしておく義務もあろうかと思い、一筆報告させていただいたものです。

若い現役の学生諸君に対して、社会人になっても、リタイヤしてからも、ボートを楽しむことができるということを知ってもらい、何かの励みになれば幸いです。

堀内さんは来年88歳になりますが、「当分俺たちは負けることはないぜ、来年(会場はメルボルン、バララット湖)は、2連覇しよう。」とまだまだお元気です。普段、堀内さんは鎌倉で、私は北九州でそれぞれが別に筋トレ、エルゴ、スカルのトレーニングを行っておりますが、年に数回は戸田で合宿して、ダブルスカルになれるようにしています。

現役時代のようなきついトレーニングはできませんが、それでも年間プログラムに沿って継続的に練習をしていることが、「世界で一番」に結びついています。

ボートはトレーニングで決まる、ということはいくつになっても変わらぬ鉄則のようです。

学生諸君も、他校に負けぬトレーニングにチャレンジしてください。必ずその後の人生にも役立つことを保証いたします。

ということをもって、今回の報告の締めくくりとしておきます。

以上

E37 松野範衛

OB・OGの皆様にもっと来て頂くために

拝啓

冷気日ごとに加わり、冬の訪れを実感する毎日、いかがお過ごしでしょうか。

今回は、試合へ来てくださる、または試合後の納会に参加して下さるOB・OGの方々が少ないことに関して、このような文章を書かせていただきます。

先日の名大新人戦に関しましては、来てくださったOB・OGの方々の数は5名で、納会に参加して下さった人数はそのうちたったの2名でした。名大新人戦では、名古屋大学側との調整により、月曜日の開催となってしまったために、来ていただくことができなかった方も多くいらっしゃったと思います。この点に関しましては、大変申し訳ありませんでした。

しかし、先日の名大新人戦だけではなく、近年の試合、納会を振り返ってみましてもOB・OGの方々の参加人数が少なく、来てくださる方も限られています。最近は、より皆様方に来ていただけるよう、私たちも、納会の形式の改善や愛知県内の方々への電話連絡、行事の日程をできる限り土曜日に設定しようという試みを行っております。しかし、未だ成果を実感することはできておらず、更なる改善が必要なのかと考えております。

また、来てくださったOB・OGの方々からは多くの注意を頂いております。艇庫が汚い、OB・OGの方々への対応が悪いなど様々です。この点に関しましては大変申し訳なく思っており、現在少しずつではありますが、現役で改善を図っている次第であります。

これから、忘年会や初漕ぎ会、送別会と、皆様にご参加いただきたい行事が数多くあります。これらの行事に多くのOB・OGの皆様が参加して下さることを、現役一同、お願い申し上げます。特に送別会に関しましては、来春卒業します大学院2年生、学部4年生の先輩方を盛大にお送りするためにも、皆様方のご参加を頂戴しなければなりません。

最後になりますが、少しでもよい状態で皆様方に来ていただけるよう、私は部の主将として、現役部員に対して勉強会を開き、皆様にご不快な思いをさせないよう努力しております。また、失礼であることは重々承知しておりますが、皆様の方から私たち現役部員に近況などをお聞きしていただくことはできないでしょうか。私どもも社会経験が多くないこともあり、目上の方と接する時にはまだまだ緊張してしまいます。少しでも多く会話をさせていただく機会を得る手助けを頂けたらと思っております。

私も今までの経験などをもとに、精一杯後輩に指導を行って参ります。しかし、私もまだまだ至らない点がありますので、皆様からの指導を頂戴し、お力を借りることで、皆様と一緒にボート部を発展させていきたいと考えております。突然のこのような形でのお願いとなり申し訳ありませんが、何卒よろしく願いいたします。

夜寒の折、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

敬具

平成25年11月25日

名古屋工業大学ボート部主将 早田陽紀